

### 第3回茨城県水道ビジョン策定検討委員会議事要旨

- 1 日時 令和3年10月26日（火）15:00～16:30
- 2 場所 茨城県開発公社ビル1階中会議室
- 3 出席者 茨城県水道ビジョン策定検討委員：  
藤田 昌史、佐藤 裕弥、北野 守康、石川 知子、矢口 みどり  
岡部 和彦、荒井 宰、飯田 薫、高崎 克彦、原部 修一 以上10名  
オブザーバー：  
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 課長補佐 遠藤 智義  
幹事：  
茨城県県民生活環境部水政課 課長 橋本 慎  
※佐藤委員、北野委員及び飯田委員は web 会議システムでの出席
- 事務局：  
茨城県県民生活環境部水政課 副参事 廣瀬 喜之 他6名

#### 4 議事の経過及び結果

##### (1) 検討内容

- ① 茨城県水道ビジョン（案）について（資料1及び参考資料1）  
＜事務局説明概要＞
- ・ 前回委員会内及び委員会後の質疑、意見への回答
  - ・ 資料（案）に対し事前に寄せられた意見への回答
- ② 今後の取り組みについて（資料3）  
＜事務局説明概要＞
- ・ 水道事業の統合に係る手順及び具体的なスケジュールの説明
    - 12月にパブリックコメントを実施し、来年度以降、市町村との検討を進める。
    - R16年度までの補助事業を最大限活かせるよう事業の早期着手を目指す。

##### 【各委員の主な質疑】

- 大規模自然災害による水道施設被害状況について  
＜事務局＞記載内容について、情報を精査する旨を回答
- 各市町村等への意見確認及び報告の進め方について  
＜事務局＞上記における今後のスケジュール、進め方について説明

- 将来における圏域の統合について  
＜事務局＞上記における記載内容の考え方について説明
- 水質検査に係る検査項目について  
＜事務局＞水質管理体制に係る記載内容について検討する旨回答
- 広域連携に係る県内水道事業の一元化（1 県 1 水道）について  
＜事務局＞上記における検討内容について説明
- 本ビジョンにおける章構成について  
＜事務局＞記載内容について検討する旨回答

#### 【各委員の主な意見】

- 今後の水道ビジョンの実現にあたっては、県内の事業者の意見を十分に取り入れ、進めていくことが最良である。
- 小規模事業者は人口減少下である今の状況では経営も厳しく、施設等の更新、耐震化も進まない状況である。県には、積極的に舵取りを行い、今回のビジョンを計画通り進めて頂きたい。
- 今回のビジョンの趣旨として、概ね 30 年間での 1 県 1 水道の実現、そのうちの 10 年間の取り組み課題を整理されているが、長い期間での取り組みのため、もう少し早くできないかということ期待する。
- 小規模事業者での経営改革の移行に対し、しっかりとした支援体制が構築できるようお願いしたい。
- 水政課だけでなく、県企業局あるいは県内の有力団体で構成されるような事務局機能の強化を推進して頂きたい。
- 今回のビジョン策定は、全国的に見ても大きく舵を取る動きであると考え。県及び県企業局が一体となるとともに、市町村、県民を巻き込んだ情報発信に力を入れるべき。
- 経営の一体化については、既存の企業局の形だけでなく、企業団のような様々な可能性を検討すべき。